

令和2年9月4日

川辺町議会議長 桜井 真茂 様

川辺町議会議員 桜井 真茂

令和2年川辺町議会第3回定例会一般質問通告書

以下のとおり通告します。

1. 質問名 町長の奥様の店の土のうについて
2. 回答を求める先 基盤整備課・総務課・町長
3. 質問の概要

先般大雨が降った時に、町長の奥様が経営する店の前に土のうが並べてありました。普段から災害が発生した時は、自助・共助・公助と何回も言っておられる町長が、奥様の経営する店の前に、浸水防止の土のうを町職員を使って並べるとはどういうことですか。

そこでお尋ねいたします。

- 1) 基盤整備課にお尋ねいたしますが、店に土のうを並べる作業を建設物価また工事として設計すると、いくらかかりますか。
- 2) 総務課が対策本部になっていますが、どのような経緯で並べられたのですか。
- 3) 自助で、自分で土のう袋と砂を買い、共助で、友人や親戚でやろうとは思わなかったのですか。

以上、それぞれにお答えください。

令和2年9月18日

令和2年川辺町議会第3回定例会一般質問答弁書

1. 質問名 町長の奥様の店の土のうについて
2. 質問議員名 桜井真茂議員
3. 答弁者 基盤整備課長・総務課長・町長
4. 答弁の概要

(基盤整備課長)

それでは、お答えいたします。

議員からは、3点のご質問をいただいておりますが、はじめに1点目の「土のうを並べる作業を建設物価また工事として設計するといくらか」についてお答えします。

土のう1袋にかかる設置及び撤去費用の設計金額につきまして、町では、岐阜県が発行している「積算基準及び歩掛表」による「土のう工」により算出しており、土のう仕拵・積立で1,630円、土のう撤去で589円、合計2,219円が1袋の設計金額となります。

以上、土のう1袋にかかる設置及び撤去費用の設計金額についての答弁とさせていただきます。

(総務課長)

続きまして、2点目の「総務課が対策本部になっていますがどのような経緯で並べられたのか」についてお答えいたします。

議員ご指摘の「大雨が降った時」でございますが、7月6日(月曜日)から7月9日(木曜日)にかけて、中濃から飛騨地方を中心に記録的な大雨となり、県内各地に甚大な被害をもたらした豪雨災害時のことでございます。

川辺町においてもその間には、災害警戒本部や対策本部を設置し、避難勧告の発令、避難所の開設、町内各所からの要請に応えるなど、その対応にあたりました。特に、7月8日(水曜日)午前7時前から9時頃にかけては、川辺町内で40ミリ～50ミリの雨量を観測し、7月6日(月曜日)から雨が降り続いた累積雨量も加わり、町内数カ所で道路側溝のオーバーフロー、山からの雨水の流れ込みなどが発生致しました。

当日は7時10分頃に一斉に入電があり、下吉田では山ぎわの十数メートルをカバーするのに必要な土のう70袋、西栃井は10袋、町長の奥様の店は

20袋がそれぞれ必要であるとの内容でございました。

災害本部といたしましては、人的及び物的被害を最小限に抑えるため、直ちに職員による現地確認と土のうの手配を行い各所へ配付致しました。

なお、同日の午後1時10分頃には町長の奥様の店から土のう20袋の追加要請がございまして、必要であると判断し追加の配付を行いました。

以上、土のうを並べた経緯についての答弁とさせていただきます。

(町長)

お答えします。

議員ご指摘の点については、まったくもってお恥ずかしいかぎりであります。自助・共助・公助を呼びかける本人の妻が、浸水によって、いかに狼狽したとはいえ、役場に助けを求めたことは、役場の職員に対しても申し訳ないと思っています。ただ、それほど切迫した状況だったということです。

住まいの点検や、備蓄品の用意など、自分の身は自分で守ることが自助であります。

自主防災組織の活動に積極的に参加するなど、地域の皆さんで助け合うことが共助であります。行政機関などが、防災体制の整備や、救助・支援を行うことが公助であります。

従って、我が家の場合、自助の備えがおろそかであったといわざるをえません。謹んでお詫び申し上げます。

しかし、町民の皆様にご承知申し上げます。緊急の場合、事態が切迫して危険を感じたとき、自分ではどうしようもないと思ったときは、躊躇無く役場へご連絡ください。人間的な面で限界はありますが、行政も、全力で、皆さんや皆さんの地域をサポートします。救助・支援をさせていただきます。宜しく願い申し上げます。答弁とさせていただきます。